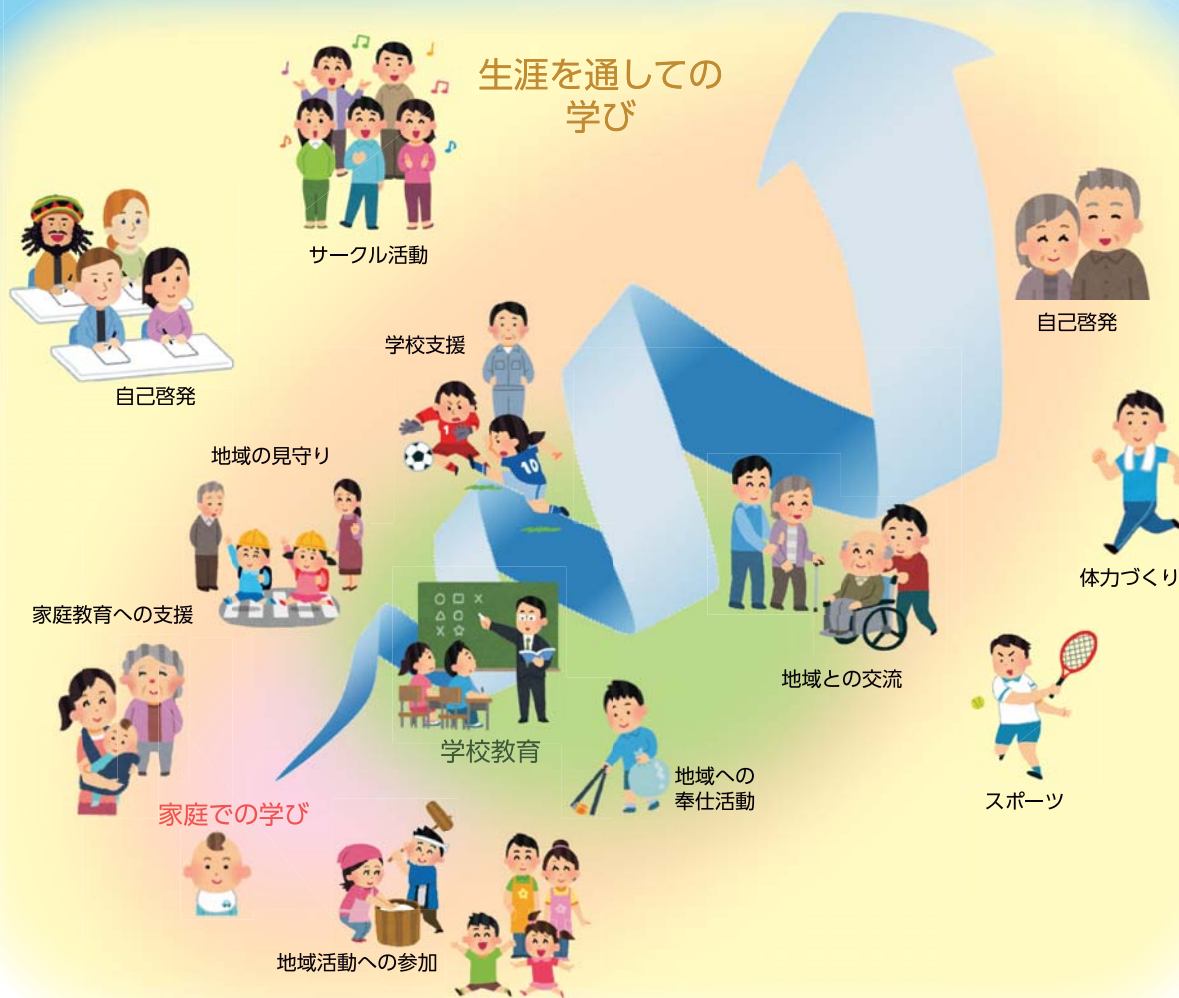


学校、家庭、地域等のそれぞれの役割

家庭は、子どもが社会で生き抜く生活力を身に付ける教育の基本となる「家庭教育」の場を担います。また、学校は、子どもの健全な生活習慣や基本的な知識や技能、それらに応用する力、豊かな人間性、体力など、知・徳・体をバランスよく育成する「学校教育」の場を担います。これらの「家庭教育」と「学校教育」が「生涯学習」と連携しつつ、子ども本人、家庭、地域住民がそれぞれに様々な活動に参画し、市民の一生涯の学習活動を支えます。

浦安市では、本計画に基づき、家庭教育、学校教育、生涯学習が相互に連携し、協力して、人生100年時代を見通した新しい時代を探求する力を育み、地域共生社会に求められる地域のつながりを構築する仕組みづくりに取り組んでいきます。



浦安市 教育振興基本計画 (浦安市教育ビジョン)

令和2年度(2020年度)～令和11年度(2029年度)

学び 育み 認め合い
『未来を創造する』人づくり

浦安市教育振興基本計画 概要版

発行:浦安市教育委員会 編集:教育総務部教育政策課

〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号 電話 047-712-6732 FAX 047-353-4586

※本計画の具体的な内容については、市のホームページをご覧ください。

令和2年3月
浦安市教育委員会

本計画は、国の「第3期教育振興基本計画」を参酌するとともに、令和2年度(2020年度)を始期とする「浦安市総合計画」と整合を図りながら、学校教育分野と生涯学習分野、生涯スポーツ分野を包含した計画として、今後10年間を見据えた浦安市における教育のあり方や基本理念及び施策の方向性等を示した計画です。



浦安市では、市民一人一人が、生涯を通じて主体的に学ぶことで自己を磨き、また、地域や家庭、園や学校、行政などに育まれる中で、互いに高め合い、それぞれの未来やまちの未来を創造することを願い、その担い手となる「人」に視点をおき、この基本理念を設定しました。

この基本理念に基づき、学校教育、生涯学習、生涯スポーツのそれぞれの分野における基本目標を示しました。

基本目標1 **自ら学び 自他を尊重する心と新しい時代を切り拓きしなやかに生きる力を育みます【学校教育】**

価値観や文化が多様化し、AI(人工知能)やビッグデータの活用など技術革新が急速に進む中、児童生徒を取り巻く環境はますます変化していくことでしょう。

これからの新しい時代には、子どもたち一人一人が主体的に学ぶ中で、自分の長所に気付き、自己肯定感を高め、互いの個性を尊重し、多様性を認め合う教育が必要となります。そして、未来を切り拓いていく子どもたちが、自己を見つめ、なりたい自分、生き方を見つけていくことが望まれます。

そのために、子どもたちが、困難に接しても柔軟に対応しながら力強く生きる力を育みます。そして、積極的に人や社会と関わり、郷土に対する愛着と多様な文化を尊重する心を育みながら、主体的な学び、自他を尊重する心、健やかな体を育む学校教育を目指します。

- 1 主体的な学び(知)
- 2 自他を尊重する心(徳)
- 3 健やかな体(体)
- 4 豊かなかわり(参画・交流・郷土愛・多文化共生)
- 5 教育環境の整備・充実の推進



基本目標2 **自ら学び ともに高めあい地域に生きる 生涯学習によるまちづくりを推進します【生涯学習】**

浦安市では、おおむね中学校区に整備している7つの公民館や図書館、郷土博物館、文化施設などを中心に、多くの市民が活発に学習活動を行っています。

一方で、市民のライフスタイルや価値観の多様化、少子高齢化に伴う市の人口構造の変化により、市民の学習ニーズや地域社会が抱える問題も多岐にわたっていることから、より多くの市民が学び続け、学んだことを生かし、地域の持続的な発展に向けた環境を整えていく必要があります。

市民一人一人が生涯にわたって学習し、学びの循環を通して市民同士のつながりを深め、学習の成果を生かすことで、豊かなまちづくりにつながる生涯学習社会の実現を目指します。

- 1 市民一人ひとりの学習機会の充実【学ぶ人づくり】
- 2 市民が学び合い交流する場の充実【つながる場づくり】
- 3 生涯学習による豊かな地域づくりの推進【生かせる地域づくり】
- 4 ふるさと浦安の文化芸術の振興【まちの魅力づくり】



基本目標3 **心も 身体も 元気で生涯スポーツ健康都市の実現を目指します【生涯スポーツ】**

浦安市では、平成22年(2010年)10月10日、市民一人一人がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、豊かなスポーツ文化を営むことで、生涯にわたって心身ともに明るく健康であることを願い、「生涯スポーツ健康都市宣言」を行いました。

近年、ライフスタイルや働き方の多様化に伴い、幼児から高齢者、障がい者等へのスポーツの広がりにより、健康増進、競技力の向上、仲間づくり、他者や異なる文化への相互理解等、スポーツには、多様な役割や意義が期待されています。

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、市民一人一人がそれぞれの目的のためにスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会や場の充実に取り組み、市民の健康で豊かな生活と、スポーツを通じて人と人、人と地域がつながる地域づくりを目指します。

- 1 多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供【「する」スポーツ】
- 2 スポーツへの関心を喚起する多様な取り組み【「みる」「ささえる」スポーツ】
- 3 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実【スポーツを行う「場づくり」】
- 4 地域づくりにつながるスポーツの推進【スポーツによる「地域づくり」】

